

ins-P6000-A3-1911 対象商品 P6000 シリーズ

電球の交換・お手入れ

電球の交換について

電球は、器具表示のランプをご使用ください。指定以外の電球を使用すると、火災の原因となることがあります。

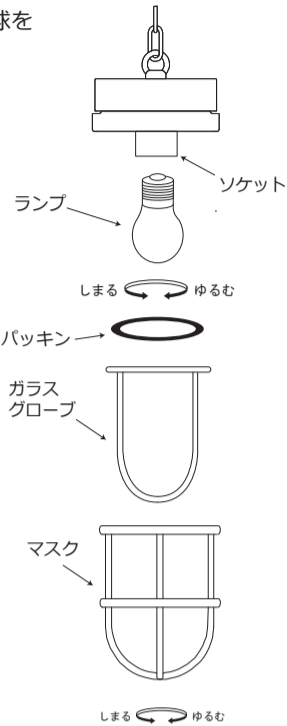
電球の交換方法

1. 電源を切り器具の温度が下がってから行って下さい。やけどや感電の原因となることがあります。
2. マスクを反時計回りに回して本体からマスクとガラスグローブ、パッキンを外して下さい。
3. 電球を交換し、外した部品を取付けて下さい。

お手入れについて

- ・明るく安全にご使用いただくために、定期的に清掃、点検して下さい。(6ヶ月に1回程度)
- ・汚れを落とすには、石けん水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- ・シンナー、ベンジン等揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色・破損の原因となります。
- ・照明器具の取り替え時期の目安は、通常の御使用状態において約8年から10年です。安全に使用するために、5年に1回程度の器具の点検および、6ヶ月に1回程度の清掃を行うようにして下さい。

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

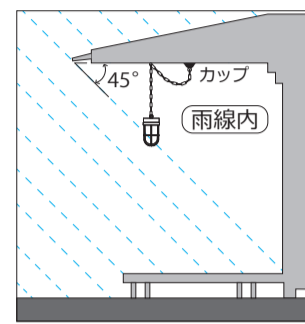


お客様へ お買い上げ有り難うございます。ご使用前にお読みのうえ、正しくお使いください。本冊子は必ず保管してください。

警告

- 器具を改造したり部品交換をしないでください。火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- ランプは器具表示の物を使用してください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因となります。
- 異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。工事店、販売店にご相談ください。
- 器具や電球(ランプ)を布や燃えやすいもので覆わないで下さい。火災、感電の原因となります。

仕様・防滴型 天井面取付け専用



本照明器具は軒下での使用が可能な防滴型の照明器具です。本体とコードは防滴処理がされておりますが、カップ部は防雨型ではありませんので、雨線内に入るように雨が直接掛からない場所にお取付けてください。

注意

- 本体の取付、取外しは、工事店、販売店に依頼してください。
- 点灯中や消灯直後のランプにさわらないでください。ランプやその周辺が加熱しておりやけどの原因となります。
- 器具の近くにストーブなど、温度の高くなる物を置かないでください。火災の原因となります。
- LEタイプ付属のLEDランプはホテルスイッチ等のオフライト付きの壁スイッチを使用した場合、不点灯や点滅等の不具合が発生する場合があります。その際は、お客様でお使いの壁スイッチに適合するLED電球に交換をお願い致します。また、LEDランプの交換が困難な照明器具の場合は壁スイッチをオフライト無しのタイプに交換対応をお願い致します。

定格	使用ランプ	
使用電圧 AC100V	P6000(LE表記無し) 白熱電球 E26 40W	P6000 LE(LE表記あり) 電球型LED E26 5W (非調光)

安全に関するご注意

器具の施工には、電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。

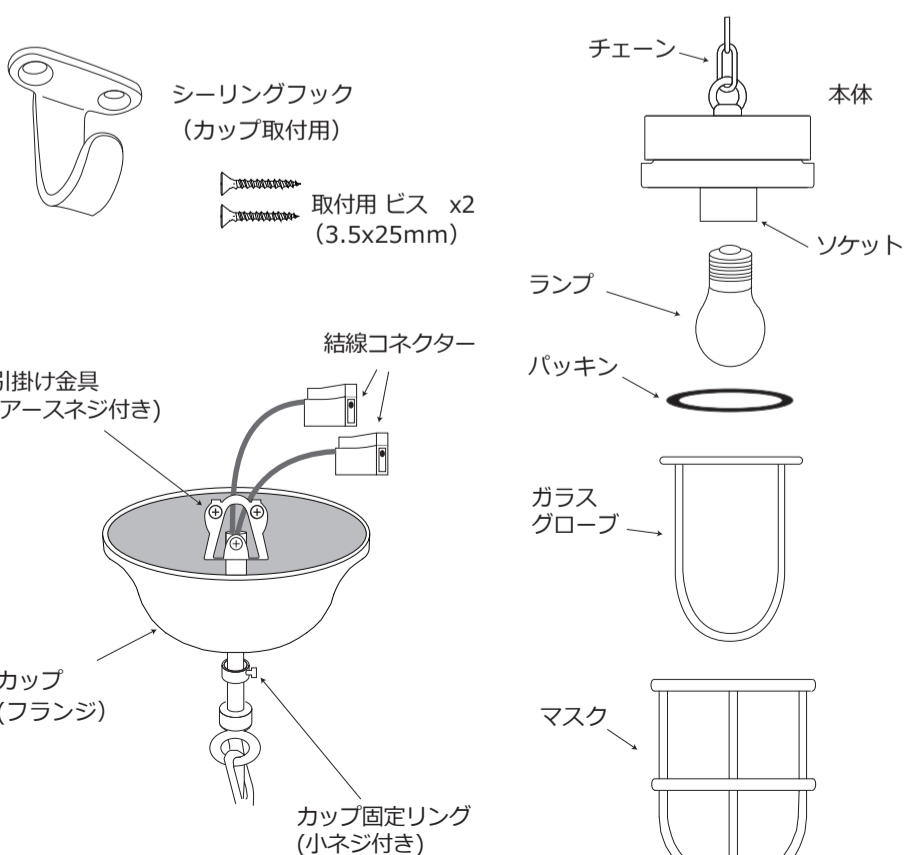
警告

- この器具は、室内または軒下用 吊り下げ照明器具です。下記の使用環境、条件では使用しないで下さい。感電火災落下の原因となります。
- 常時、周囲温度が35℃以上になる所。
- 風呂場など、常に湿気が多い(85%以上)所。
- 振動・衝撃の激しい所や、腐食性ガス・可燃性ガスの生じる所。
- 粉塵の多い所。
- 床面、壁面への取付。
- 器具の施工は、施工説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると火災、感電、落下の原因となります。
- 取付方向の指示をまもって下さい。指示以外の取付をすると火災・落下してけがの原因となります。

注意

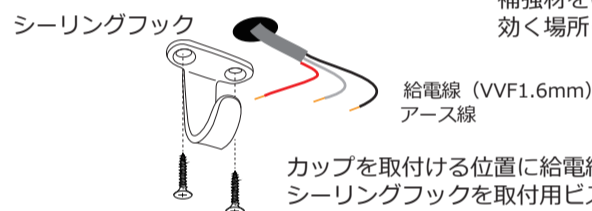
- 器具に表示された電源電圧の±6%以内で使用して下さい。火災・感電の原因となります。
- 温度の高くなる物の上に取付けないでください。ガス機器やその排気管の付近に取付けないでください。火災の原因となります。
- P6000 LEに付属のLEDランプは調光機能付きの回路には使用できません。故障の原因となります。
- LEタイプ付属のLEDランプはホテルスイッチ等のオフライト付きの壁スイッチを使用した場合、不点灯や点滅等の不具合が発生する場合があります。その際は、お客様でお使いの壁スイッチに適合するLED電球に交換をお願い致します。また、LEDランプの交換が困難な照明器具の場合は壁スイッチをオフライト無しのタイプに交換対応をお願い致します。

各部の名前と付属部品 △ 注意 施工前に部品をご確認ください。



取り付け方 △ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

1. シーリングフックの取付け

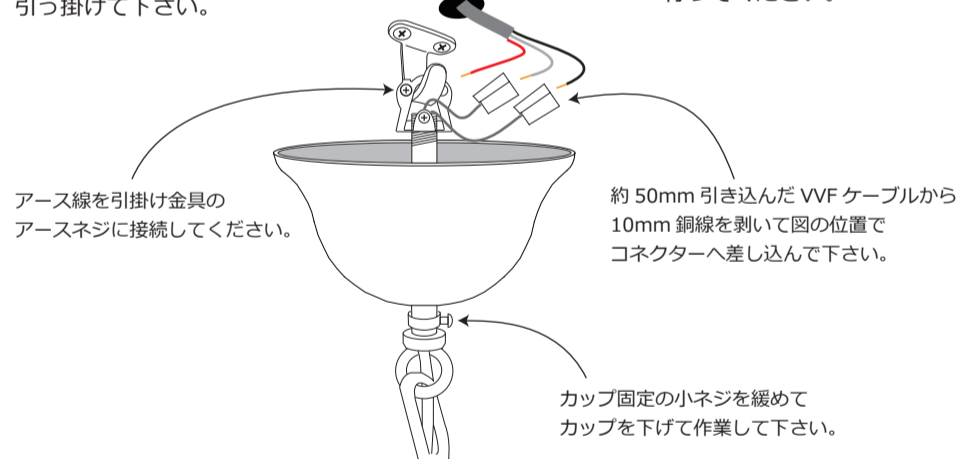


※シーリングフックを取付ける面には補強材を入れるなどし、ビスがしっかりと効く場所に取付けてください。

2. カップの取付けと配線の接続

カップの引掛け金具をシーリングフックに引っ掛けて下さい。

△ 必ずD種(第三種)設置工事を行ってください。

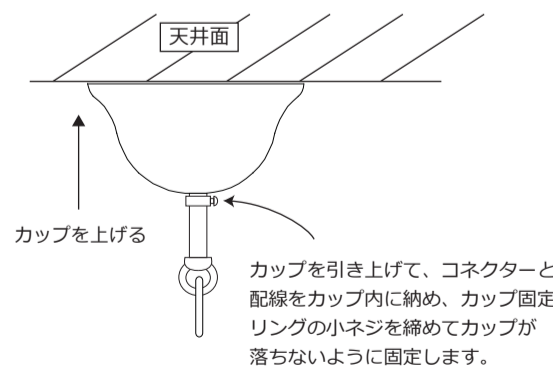


アース線を引掛け金具のアースネジに接続してください。

約50mm引き込んだVVFケーブルから10mm銅線を剥いて図の位置でコネクタへ差し込んで下さい。

カップ固定の小ネジを緩めてカップを下げて作業して下さい。

3. カップの固定方法



※小ネジはカップが落ちない程度に軽く締めてください。強く締めすぎるとネジが破損する恐れがあります。

4. 器具の高さを調節する場合



天井用のシーリングフック等を使用してチェーンを掛けて器具の高さを調節されることをおすすめいたします。

品番 610911
フックシーリングSS
(別売り)

天井面への取付け

注意

- ペンダントランプ用の引掛けシーリング、埋込み型ローゼットには対応していません。
- 傾斜天井面への取付けは、30度までですが、吊フック等を使用すれば、45度まで対応できます。吊フックに関しては一般市販品でチェーン等を含んだ重量に耐える商品をご使用ください。